

常盤新聞

定部金貳錢 廣五號十二行 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

二月二十八日夕刊

道 常盤新聞

領受牌金 印半天專門 優秀品の証明 草野染工場

電話二四八番 磐城 平町

診察無料 其他實費

平町實費病院

小兒科。外科。婦人科。花柳病科。

磐城病院

平町田町本通り 入院隨時(電話二一四番)

電話二三七番 配達迅速

品質ノ優良+値段ノ安價=阿部石炭商店ノ石炭

常盤第一ノ優良炭田ヨリ産出スル

一日ノ採炭三百五十車ノ大量生産

三大量購入ノ結果買入値段ノ安キ

平驛前 阿部石炭商店

磐城炭礦株式會社ノ一手販賣

常盤論壇

現内閣の 經濟政策批判 三士忠造

(一)自然増収と剰餘金の繰入

剰餘金の繰入が多過ぎる、自然増収の繰入が多過ぎる、公債募集額が多過ぎると云つて非難して居つたのであるが、經濟界の反動以來大正十一年の高橋内閣の時代の豫算に於ては寧ろ前年度に比して千百萬圓程の減收にして居つたのである、其翌年の大正十二年に於て減收が轉じて三千二百萬圓の

自然増収を見積つたのである、此三千二百萬圓の自然増収が既に多過ぎると言つたのは憲政會の諸君である、然るに昨年の豫算に於ては自然増収六千六百萬圓を見積り來年度の豫算に於ては八千五百萬圓の多きに上つて居るのである、又剰餘金の繰入に付ても大正十二年には僅に三千萬圓であつたが、大正十五年の豫算に於ては一億二千四百萬圓と云ふ最近數年間未だ見ざる程の巨額の剰餘金の繰入をした來年の豫算を見ると更に之れを増加して一億六千六百萬圓と云ふ剰餘金の繰入をして居るのである、尤も此の中には現内閣に於て初めて計畫を立てた剰餘金の中より特別に減債基金を増加すると云ふ金が四千四百萬圓餘ある、其財源として剰餘金の繰入額を多くしたのであるが、之を差引いて考へても尙且つ一億二千萬圓の剰餘金の繰入である、在野時代剰餘金の繰入が多額に過ぎると言つた大正十二年は僅に三千二百萬圓である、然るに夫れを非難攻撃したる憲政會の諸君が自ら局に當るや一億二千萬圓以上の剰餘金を繰入れて是が爲に財政の膨脹を來したのである (つゞく)

横森博士の推奨せる

其偉効眞に神の如く

定價...一圓五十錢、二圓

平町五丁目角 山野邊藥局

代理店 阿康藥舖 電話四四四番

飲むにすぐキク クノ一散

齒痛、神經痛、頭痛の特効藥

平町各藥店に販賣す 試みられよ、

賣れ行きが事實を證明する 品質聲價共に拔群の!!

磐城セメント

磐城セメント會社特約店 和洋銅鐵 釜屋商店

釜屋商店 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣は勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

一日掛金十錢ツ、七圓マデノ品
一 全金二十錢ツ、十五圓マデノ品
一 特製眞中 爐カギ外銅壺南部物産品種々

南部鐵瓶店 販賣 南町廿九番地

店員募集

一、小學校卒業程度 五名
一、商業學校卒業生 二名
御希望の御方は店則並に詳細御面談可致に付至急御申込被下度候

三井吳服店 平町三丁目 電話三三八番

教會堂の開放

一、社會公衆の福利を目的とする總ての集會の爲に教會堂を開放す
一、但し、日曜日は御斷り
一、料金二日金貳圓以上
一、但し電氣料、其他實費として

平町南町裡 日本基督平教會

じんみりと浪花節に音樂 陽氣に 小唄に民謡 おへんの宿替に 落語喜劇等 澤山入荷致しました

平町四丁目 會田時計店 電話三六三番

修造 廣内藥局 電話四〇〇番

豫算に對する けふ平町會の意見

警備費に大削減を加へ 田地埋立費は否決か

平町會は二十五日開會昭和二年豫算案を附議し之を委員十五名に附託し委員會は二十六、七の兩日間に亘り慎重審議を重ね今日二十八日再會した本會議に於て最後の決定は本稿締切迄に判明しなかつたが町會に於ける大體の

意見を 聴くに及出 經常部に於て最も注目さるゝは警備費六千二百五十七圓にして之は昨年より八百二十五圓八十六錢増額され居る此の増額の内容は昨年自動車ポンプを購置したに對し手當二百九十六圓、掃除費二百圓、賞與金百六十圓、備品費二百二十圓等に於て町當局は昨年ポンプ購入に際し經常費を増額せぬと言明せるに拘らず斯かる不當な

必要は 絶対に無い から當然其金額が否決の運命に陥るべく更に警備費に於ても六千六百圓が計上され昨年より五百二十九圓増加されて居るから之亦前同様自動車ポンプ置小屋新築八百圓修繕費五百圓等若千削減さるゝが至當と見られてゐるから右の以外に各款項目中に於ては大体原案が通過するものと推定さる

増額を 計上した爲

銀行は反對……

信用組合は賛成

預金利子引下げと 石城金融界の傾向

昨年十月二日日銀の利下げ断行以來中央の一流銀行は利子の引下げを發表したがこの預金利子引下げはひとり中央金融市場に止まらず

地方に まで影響し 本縣銀行同盟會に於いても 近く會合協議の結果大勢に 順應して利子引下を断行せ

んとする氣運となり各地銀行組合に對しそれ〴〵意見を聴取したが石城銀行組合ではこれに反對の意見を有し過般の協議會において縣下銀行同盟會協議會席上において預金利子引下の

鑛業界の不振を語る

試掘出願件数の漸減

却下理由は登録税の不納 今後假借なく整理の方針

仙臺鑛山監督局管内に於ける鑛區試掘出願件数は漸減して來た事は鑛業界の不振を物語るのであつて、更に本年に入りては其減少は著しく近年にないみじめなものであると之の結果か



家庭料理各種

牛肉の蒸し焼 材料(五人分として)牛肉一斤、玉葱五個、肉を七分くらゐ

三件であり福島縣は石炭、青森、岩手縣下は砂鐵であるが尚ほ監督局にては今後鑛業界の振興と整理を圖る目的から如何はしいものは

漁業共同施設資金貸付

石城七濱へ福音

逓信省では簡易保險積立金の低利貸付け項目のうち漁業共同施設資金を加へ漁業施設の改善、充實、發展等に資せしめてゐるが東北の漁村では之が借入れを申込んで來るものが殆ど無いので仙台逓信局では近く管内東北七縣下の各漁村に對し之が利用方の周知宣傳を試みる

好間演武場

昨日道場開き

石城郡好間村大字小館の有志が發起となり今回一千餘圓を投じて演武場を新築したが昨日午前十時から郡内の著名剣士を招き盛大な道場開き及び試合を舉行した

來るべき試験地獄に

親子共々の一と苦勞

殊に入學難の石城地方

年少子女の受難の日、男女中等學校の入學試験期日は一日と切迫して幾多の可憐な受験者は來るべき大試験の前に昨今を必死と血みどろな受験準備の勉強を續けてゐる當人の子女は勿論のこと時に激勵し時に愛撫し所謂寛嚴宜しきに適して子の勉強を監視せねばならぬ各家庭の親達にとつても三月の試験は世は漸く晩暮の春ながら前途の希望に

ことの出來ぬ情勢にある斯くして當人や親達は心配は蓋しなみ大抵のものでないが子供を試験場へ送る親の注意として

無理解の勉強は却て頭腦の安定を害するから勉強を強める、連續的に机に向つて勉強してゐる事は却て能率を減する、一時間十分乃至十五分の休憩時間をとらせる様にす

酒井氏の篤志 平町田町旅館住吉屋支店主酒井清氏は來る三月八日嚴父勇次郎翁が物故して三年忌に相當するので故翁供養の爲め和譯觀音經二千部を印刷製本し近親、友人並に各學校等へ寄贈する由